

## 御中

1. 適用 木部 内装 <床>
2. 仕上げ 無公害木材保護塗料(自然塗料) 着色半透明 ツヤ有り
3. 使用塗料

規格名称	規格番号	塗料品名
無公害木材保護塗料(自然塗料)	-----	オスモカラー ワンコートオンリー(16色)
無公害木材保護塗料(自然塗料)	-----	オスモカラー #3032 フロアクリアー

## 4. 施工工程

工程		塗料品名	希釈剤 (希釈率%)	標準塗布量 ml/m <sup>2</sup> /回	塗装間隔 (20℃)	
素地 しらすえ	1	汚れ、付着物除去	木部を傷つけない様に除去し、油類は溶剤等で拭き取る			
	2	ヤニ処理	ヤニは、削り取り又は電気ごて焼きの上、溶剤等で拭き取る			
	3	研磨紙すり	研磨紙 P180 を用いて、かんな目、逆目、けば等を研磨する			
塗り 工程	4	着色	オスモカラー ワンコートオンリー	無希釈	50	12 時間以上
	5	研磨紙すり	不 要			
	6	仕上げ塗り	オスモカラー #3032 フロアクリアー	無希釈	34	12 時間以上

- ◇ オスモカラーワンコートオンリー、#3032 フロアクリアーは告示対象外で、F☆☆☆☆と同様使用面積制限を受けません
- ◇ 塗装には腰の固い刷毛、オスモ筋交い刷毛、オスモワイドブラシ、コテバケをお使いください
- ◇ 塗装用具の洗浄にはオスモカラー刷毛専用洗浄液をお使いください
- ◇ 塗りすぎた塗料の拭取りや、試し塗りに使用したウエスやぼろ布は自然発火の恐れがあるので、十分に水に浸してから処分するか、すぐに焼却処分してください

☝ 超仕上げされた床にそのまま塗装するとすべりやすくなるので必ず研磨紙 P180 でサンディングして木地調整をしてから塗装してください

☝ 水拭きにはウォッシュアンドケア、メンテナンスにはワックスアンドクリーナーをご使用ください

☝ 木の吸い込みによって塗布量が増減することがあります

## 御中

1. 適用 木部 内装 <床>
2. 仕上げ 無公害木材保護塗料(自然塗料) 着色半透明 ツヤ有り
3. 使用塗料

規格名称	規格番号	塗料品名
無公害木材保護塗料(自然塗料)	-----	オスモカラー ウッドワックス(13色)
無公害木材保護塗料(自然塗料)	-----	オスモカラー #3032 フロアクリアー

## 4. 施工工程

工程		塗料品名	希釈剤 (希釈率%)	標準塗布量 ml/m <sup>2</sup> /回	塗装間隔 (20℃)	
素地 しらすえ	1	汚れ、付着物除去	木部を傷つけない様に除去し、油類は溶剤等で拭き取る			
	2	ヤニ処理	ヤニは、削り取り又は電気ごて焼きの上、溶剤等で拭き取る			
	3	研磨紙ずり	研磨紙 P180 を用いて、かんな目、逆目、けば等を研磨する			
塗り 工程	4	着色	オスモカラー ウッドワックス	無希釈	50	12 時間以上
	5	研磨紙ずり	不 要			
	6	仕上げ塗り	オスモカラー #3032 フロアクリアー	無希釈	34	12 時間以上

- ◇ オスモカラーウッドワックス、#3032 フロアクリアーは告示対象外で、F☆☆☆☆と同様使用面積制限を受けません
- ◇ 塗装には腰の固い刷毛、オスモ筋交い刷毛、オスモワイドブラシ、コテバケをお使いください
- ◇ 塗装用具の洗浄にはオスモカラー刷毛専用洗浄液をお使いください
- ◇ 塗りすぎた塗料の拭取りや、試し塗りに使用したウエスやぼろ布は自然発火の恐れがあるので、十分に水に浸してから処分するか、すぐに焼却処分してください

👉 超仕上げされた床にそのまま塗装するとすべりやすくなるので必ず研磨紙 P180 でサンディングして木地調整をしてから塗装してください

👉 水拭きにはウォッシュアンドケア、メンテナンスにはワックスアンドクリーナーをご使用ください

👉 木の吸い込みによって塗布量が増減することがあります